

事に致しました。なお藤嶋年度7月中に交代会員を含め5名の入会式を予定しておりますので115名に戻る予定です。

■ 会員増強委員会 委員長 星野 良江



■ 会員選考委員会 委員長 染谷 義一

会員選考委員長として6名の厳正なる選考を致しました。また、姉弟委員会でもあります会員増強委員会へ情報を提供し、会員増強のサポートをすることができました。

■ 国際奉仕担当理事 川崎 春夫

ロータリー思想そのものである「職業奉仕」の委員会を担当させていただきました。小沢会長の意を受け、SDGsをテーマとして先進的な企業と、当クラブの会員企業の取組について、全6回の卓話による担当例会を実施いたしました。



8/22 花王(株)

「花王の環境調和活動～過去・現在・未来～」

9/12 藤池会員の株式会社デサン「SDGsへの取り組み」

2/13 浅野会員の株式会社武蔵野銀行武蔵野銀行

「サステナビリティへの取り組み」

2/27 産業廃棄物処理の石坂産業株式会社

「Sustainability(持続可能)からRegeneration(再生)へ」

3/13 押野会員のテクノロジーOneグループ

「3Rの課題解決を目指して」

4/10 関根会員のご尽力でトヨタ自動車(株)

「カーボンニュートラル実現に向けた取り組みについて」それぞれ、事業活動そのものが社会奉仕となり持続可能な社会へとつながる取り組みを確認できたと思います。増永委員長並びに役員・理事・会員の皆様のご協力とご理解により全6回の担当例会を終えることが出来ました。

■ 職業奉仕委員会 委員長 増永 裕樹

今年度は小沢会長の強い希望によりSDGsを切り口に計6回の卓話を主催しました。年間を通じたテーマがSDGsと聞いたときは正直難しいと感じました。ビジネスを通じて社会問題を解決するというのは、言うは易し行は難しとの印象を抱いていたからです。ところが石坂産業や会員の皆様などの取り組みを調べると、困難な命題を達成している企業があることに気づけました。SDGsは、ビジネスを通じて社会に貢献するという職業奉仕の精神と通ずるものがあります。1年間の経験を基に今後の職業奉仕に活かしていきたいと思っております。



■ 国際奉仕担当理事 井上 勝美

当部門は国際奉仕委員会 吉田浩士委員長、ロータリー財団委員会 永井 博委員長、米山記念奨学委員会 円谷 友香委員長、シスタークラブ委員会 萩原直樹委員長の4委員会にて、年度計画書に基づき運営して参りました。コロナ禍でラオ・フレンズ小児病院の訪問ができず残念でございました。



■ 国際奉仕委員会 吉田 浩士

国際奉仕委員会では、国際理解・親善・平和の推進に寄与するために、ベトナムのダナンへの支援と、今までにも支援を行って参りましたラオスのラオ・フレンズ小児病院への支援を行いました。

まずは、11/28 第2756例会では、運営母体であるフレンズ・ウィズアウト・ア・ボーダーJAPAN代表理事の赤尾和美様にZoomでの卓話を行っていただき、ラオ・フレンズ小児病院の現状と活動内容について説明をいただきました。また、当クラブの60周年記念事業の一環として、ラオ・フレンズ小児病院へ日本円で50万円相当のパソコン機材、ハードディスク、小手術室と滅菌室の改築費の支援を行い、赤尾様には60周年記念式典にもご来賓として出席をしていただきました。今年度は海外の現地を訪問しての視察と支援を行うことができなかったことが残念ではありましたが、及第点以上の支援ができたのではないかと考えております。

■ ロータリー財団委員会 委員長 永井 博



■ 米山記念奨学委員会 委員長 円谷 友香



■ シスタークラブ委員会 委員長 萩原 直樹

クラブテーマである「60周年 新たな奉仕活動へ」に基づき、近年実現できなかった台湾・南投扶輪社への表敬訪問とメルボルン国際大会へのクラブメンバー参加を方針として挙げておりました。クラブとしての表敬訪問及び大会参加は実現できませんでしたが、今年4月に行われた南投RC創立60周年記念式典に、荒井伸夫会員と内山泰成会員に大使として訪問、姉妹クラブ締結を行っていただきました。次年度も引き続き台湾・南投扶輪社への訪問や交流など、更なる友好関係構築に努めてくと共に、来年こそは5月シンガポールで開催予定のロータリー国際大会に多くのクラブメンバーに参加いただけるように推進してまいります。



■ 社会奉仕担当理事 押野 一郎

大勢のメンバーが集う大宮西クラブだからこそインパクトのある社会奉仕活動ができたと思う。先輩諸氏が築き上げた歴史と伝統を重んじつつも変化への適応を少しずつ丁寧に心掛けた。特に10/8(土)に行われた第四グループ合同奉仕事業では、300人超の参加者を取りまとめ大盛況であった。内山ガバナー補佐、十文字グループ幹事、染谷実行委員長には心より感謝申し上げたい。



■ 社会奉仕委員会 副委員長 菊池 裕一

2つの事業を行いました。ひとつめは、昨年7月、児童養護施設カルテットへ、(株)サイボウ様のご協力をいただき、子供たちや職員の「防災用ヘルメット70個」を寄付しました。そして、昨年8月には、特別支援学校 大宮ろう学園へ、タイシン商事(株)様にご協力をいただき「50インチテレビ5台」を寄付しました。また、会員の皆様には、のぼり祭の折にバザー品のご提供にご協力をいただきましてありがとうございました。



■ 環境教育委員会 委員長 緒方 学

新たな奉仕事業「教育の奉仕」として、さとえ学園小学校で行われている5年生の総合学習授業の中のピオトーププロジェクトに、大宮西ロータリークラブとして、教育の手助けをメインに活動を行ってまいりました。初めての事ばかりだったので、学校の担当教諭である山中先生や小沢会長、押野理事、佐藤副委員長とも何度も話し合いながら、どのように具現化して行くか、悩みながらの日々でした。その結果、例会で学校とWeb中継にて生徒のプレゼン実施やピオトープに関する70件の質問や要望に対し、会員の皆様から300件を超える回答、意見、アドバイス等をいただき、皆様の多大なる協力も得て、なんとか形にできたのかなと思います。この経験を今後のロータリー活動や会社での仕事に活かして行きたいと考えております。



■ 青少年奉仕担当理事 土屋 隆弘

